

マスコミ各位

令和4年5月27日（金）

沖縄県保健医療部ワクチン・検査推進課 感染症予防班

担当：加藤、嘉数

電話：098-866-2013

手足口病患者の流行状況について

～警報発令～

1 概要

現在、本県では手足口病の患者が増加しています。

感染症発生動向調査による手足口病の患者報告数は、令和4年第20週（5月16日～5月22日）に、定点あたりの報告数が5.03人（定点医療機関34カ所、報告数171人）となり、警報発令基準値の5.00人を超えましたので、警報を発令します。前回の警報発令は平成28年第24週（6月13日～6月19日）であり、6年ぶりの流行となります。

令和4年の直近の7週間（第14週～第20週）の患者数は674人で、年齢別では1歳が267人（39.6%）で最も多く、次いで2歳192人（28.5%）、6ヶ月以上12ヶ月未満84人（12.5%）、3歳74人（11.0%）、4歳27人（4.0%）の順となっており、第19週から第20週にかけて、特に1～2歳児の患者増加が顕著に認められます。

2 手足口病の患者発生状況

手足口病患者情報は、感染症発生動向調査事業において県内の小児科34定点医療機関の協力を得て、患者情報を週単位で収集し、全国約3,000カ所の定点情報と併せて分析し、県民及び医療機関に情報を提供しています。

定点当たりの患者報告数（直近の7週間）

	週	14週 4/4 ～4/10	15週 4/11 ～4/17	16週 4/18 ～4/24	17週 4/25 ～5/1	18週 5/2 ～5/8	19週 5/9 ～5/15	20週 5/16 ～5/22	計
県	患者数	55	53	71	102	95	127	171	674
	定点当	1.62	1.56	2.09	3.00	2.79	3.74	5.03	—
全国	患者数	213	277	374	440	336	381	582	2603
	定点当	0.07	0.09	0.12	0.14	0.11	0.12	0.19	—

※感染症発生動向調査システム上の警報の発令基準値 流行警報：定点当たり5人以上

ここ数週間は増加傾向にあり、第 20 週の保健所別定点あたり患者報告数は、那覇市保健所が 6.57 で最も多く、次いで中部保健所 5.92、南部保健所 5.5、宮古保健所 3.5、八重山保健所 1.5 の順となっています。一方、北部保健所管内では、現在のところ報告はないものの今後注意が必要です。

3 手足口病とは 5 類感染症 [定点把握]

病原体：コクサッキーウイルス A16、A10 及び A6、エンテロウイルス 71 等

感染経路：咳、くしゃみによる飛沫感染、水疱・便に含まれるウイルスとの接触感染

潜伏期間：3～5 日間。ウイルスは症状が治った後も数週間、便に排出されます。

症状：口の中や手足等に水疱性の発疹がみられます。発熱を伴う場合もあります。基本的に軽症疾患ですが、まれに髄膜炎等の合併症を起こすことがあるので、注意が必要です。

予防：ワクチンはありません。手洗いをしっかりとすることと、排泄物を適切に処理することで予防できます。特に保育園や幼稚園などの乳幼児の集団生活施設では、注意が必要です。

4 参考

- 沖縄県感染症情報センター「感染症発生動向調査 週報・月報 ～速報～」
< 定点把握 18 疾患のグラフ・データ > に、手足口病の情報を掲載しています。
<https://www.pref.okinawa.lg.jp/site/hoken/eiken/kikaku/kansenjouhou/home.html#syugepou>
- 厚生労働省「手足口病に関する Q & A」
<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/hfmd.html>
- 厚生労働省「保育所における感染症対策ガイドライン（2018 年改訂版）（2021(令和 3)年 8 月一部改訂）」
<https://www.mhlw.go.jp/content/000825345.pdf>
- 日本小児科学会 予防接種・感染症対策委員会「学校、幼稚園、認定こども園、保育所において予防すべき感染症の解説（2021 年 6 月改訂版）」
https://www.jpeds.or.jp/uploads/files/yobo_kansensho_20210628.pdf